

第2学年 生活科学習指導案

対象 第2学年1組 児童32名
指導者 内藤 貴子

1 単元名 「せかいでひとつ わたしのおもちゃ」

2 単元の目標

身近にある物を使って動くおもちゃを作ったり遊んだりする活動を通して、遊びや遊びに使う物を工夫してつくり、その面白さや不思議さに気付くとともに、みんなと楽しみながら遊びを創り出すことができるようとする。

3 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①身近にある物を使って動くおもちゃを作ったり遊んだりする活動を通して、その面白さや不思議さに気付いている。	①身近にある物を使って動くおもちゃを作ったり遊んだりする活動を通して、遊びや遊びに使う物を工夫して作っている。	①身近にある物を使って動くおもちゃを作ったり遊んだりする活動を通して、みんなと楽しみながら遊びを創り出そうとしている。

4 単元設定の理由

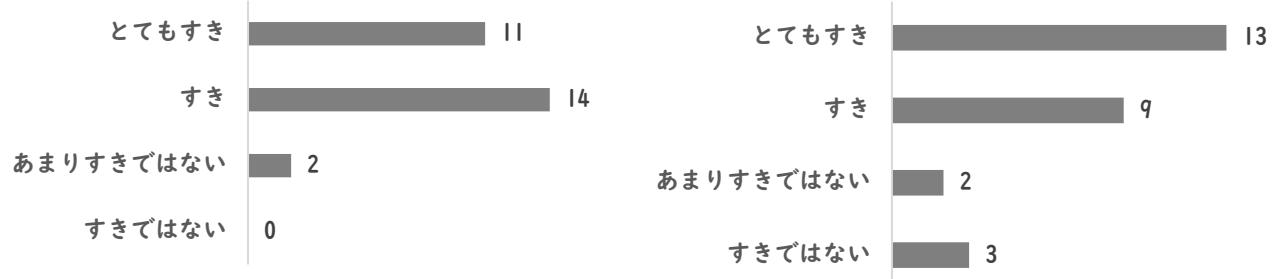
(1) 児童の実態

児童は、第1学年「あきとなかよし」の学習で、ドングリなどを使った工作を通して、身近な自然を利用して遊ぶ活動に取り組んだ。また、第2学年国語科「紙コップ花火の作り方」では、時間的な順序や事柄の順序を考えながら、内容の大体を捉えて読むとともに、実際に紙コップ花火を制作することを通して、身近にあるものを使って動くおもちゃを作る経験をしている。

単元の実施にあたり、アンケートを実施した。(質問紙法により 7月8日実施 数値は人数 n=27)

生活科の学習は好きですか。

自分が思ったり考えたりしたものを作ることは好きですか。



自分の思ったことや考えたことを、友達に話す（伝える）ことは好きですか。

友達の思ったことや考えたことを聞くことは好きですか。

とても好き

7

とても好き

7

すき

11

すき

9

あまり好きではない

8

あまり好きではない

9

すきではない

1

すきではない

2

～考察～

生活科の学習については、肯定的な回答を示す児童が90%以上と、学級の多くの児童が生活科を好きなことが分かった。「作ること」に関する質問については、「あまり好きではない」「すきではない」と回答する児童が20%弱と、苦手意識をもつ児童がいる。

自分の思ったこと・考えたことを友達に話す（伝える）ことや、友達の思ったこと・考えたことを聞くことについては、苦手意識をもつ児童が、それぞれ30%強、約40%いることが分かった。

本単元では、身近にある物を使って動くおもちゃを作ったり、それらで遊んだりする中で、その面白さや不思議さに気付かせていきたい。また、おもちゃを作ったり遊んだりする際には、友達と関わり合う中で、自分の思いや考えを伝えたり友達の思いや考えを聞いたりすることを通して、自分や友達のよさに目を向けさせていきたい。

(2) 単元について

ア 本単元の学習指導要領の位置付け

本単元は、小学校学習指導要領解説生活編（平成29年7月）内容（6）に基づいて設定した。

（6） 身近な自然を利用したり、身近にある物を使ったりするなどして遊ぶ活動を通して、遊びや遊びに使う物を工夫してつくることができ、その面白さや自然の不思議さに気付くとともに、みんなと楽しみながら遊びを創り出そうとする。

イ 教材と系統性

本単元は、身近にある素材で遊んだり、試す、見通す、工夫するなどの思考を働かせ、動くおもちゃを友達と作ったり、みんなと楽しみながら遊びを創り出すことを目指している。

本単元で取り扱う「身近にある物」とは、日常生活の中にある様々な物の中で、児童が遊びを工夫したり、遊びに使うものをつくりたりするために使おうと選び出す事物のことである。例えば、紙、ひも、ポリ袋、空き缶、空き箱、空き容器、ストロー、割りばし、ペットボトル、牛乳パック、紙コップ、トレイ、輪ゴム、磁石などが考えられる。これらの物を、試行錯誤を繰り返しながら、遊び自体を工夫したり、遊びに使うものを工夫したりして作る。

「教科内の系統性」

- 1年生・・・・ 「あきとなかよし」
ドングリなどの自然の素材を使った工作
- 2年生・・・・ 「せかいでひとつ わたしのおもちゃ」
生活の中にある身近な素材を使った工作

ウ指導観

遊びや遊びに使う物を工夫して作ることで、児童が遊びの面白さとともに、自然の不思議さにも気付くことができるようになる。例えば、遊びに使う素材を変えることでおもちゃの動きが変わることなどがある。また、繰り返し制作活動に取り組んだり、学習環境を整えたりすることに加えて、話したり書いたりすることで、無自覚であった気付きを自覚させていくことや、振り返ったりまとめたりすることで、視点を変えて自分自身の成長や変容に気付かせる。

5 人権教育の視点

身近な自然を利用したり、身近にある物を使ったりするなどして遊ぶ活動を通して、生活を豊かにしようとする態度を養う。

6 研究主題に迫るための手立て

○自分も相手も大切にする言語能力を育成するために取り入れる言語活動

【気付いたことを伝え合い交流する力】

・制作する中で気付いたことを、ワークシートに書いたりペア・グループの友達と話し合ったりすることで、自分の考えを自覚させていく。また、それらを学級全体で話し合ったり、話し合ったことを教師が板書し整理したり関連付けたりすることで、一つ一つの気付きが関連付けられるようにする。また、振り返ったりまとめたりすることを通して、視点を変えて自分自身の成長や変容に気付けるようになる。

【どのように遊ぶか、ルールをどうするかなどを話し合う中で、友達を尊重する力】

・制作の途中に、ペアやグループで話し合ったり、気付いたことを学級全体で交流したりするなど、友達との関わり合いを通して、約束やルールを守って遊ぶと楽しいことに気付いていくとともに、友達のよさや自分との違いを考えたり、相手の意見を尊重したりする態度を身に付けさせる。

7 学習指導計画・評価計画（全12時間扱い）

時	○学習活動	*人権教育に関わる留意点等 ◆研究主題に迫るために手だて ◇評価
1 2	<ul style="list-style-type: none"> ○これまでのおもちゃ作りの経験を出し合う。 ○集めた材料を見ながら、どんな特徴があるか、どんな遊びができそうか、学級全体で意見を出し合う。 ○集めた素材の特徴を生かして、転がしたり、くっつけたり、積んだりしながら遊ぶ。 ○素材遊びで気付いた素材の特徴を出し合う。 ○素材の特徴を生かして、どんなおもちゃを作ることができるのかを予想し、おもちゃ作りへの見通しをもつ。 	<p>*教科書掲載の二次元コードを活用し、遊びの例を提示して、児童の興味を引き出し、関心を高めていく。</p> <p>◆気付いたことをペア→班→学級全体で話し合い、教師が板書に整理していく中で、気付きの質を高めていく。</p> <p>◇素材の特徴を生かして、どんなおもちゃを作ることができそうかを予想し、おもちゃ作りへの見通しをもっている。</p> <p style="text-align: right;"><思-①>（発言、行動観察）</p> <p>◇集めた材料を見ながら、どんな特徴があり、どんな遊びができるのか、意見を出し合ったり、集めた素材の特徴を生かして、転がしたり、くっつけたり、積んだりしながら遊んでいる。</p> <p style="text-align: right;"><知-①>（発言、行動観察）</p>
3 4 5	<ul style="list-style-type: none"> ○自分の考えたおもちゃを作るために必要な材料を考え、計画する。 ○試行錯誤しながらおもちゃを作ったり、遊びを考えたりする。 ○活動を通して、よかったこと・うまくいったこと、困ったこと・上手にできなかつたことを交流し、次の活動への見通しをもつ。 	<p>*おもちゃ作りのアイデアや作り方の参考となるよう、教科書掲載の二次元コードを活用し、おもちゃ作りの例や道具の使い方などを視聴する。</p> <p>*いつでも振り返ることができるようするために、制作途中の様子や作成したおもちゃ、遊びの様子を教師がタブレット端末で撮影する。</p> <p>◆制作中のおもちゃを互いに見合ったり、説明し合ったりする中で、気付いたことを交流していく。また、気付いたことを学級全体で発表し、教師が板書で発言を整理していくことなどで、気付きの質を高めていく。</p> <p>◇自分の考えたおもちゃを作るために必要な材料を考え、計画している。</p> <p style="text-align: right;"><思-①>（発言、行動観察）</p> <p>◇試行錯誤しながらおもちゃを作ったり、遊びを考えたりしている。</p> <p style="text-align: right;"><知-①>（発言、行動観察）</p> <p>◇活動を通して、よかったこと・うまくいったこと、困ったこと・上手にできなかつたことを交流し、次の活動への見通しをもっている。</p> <p style="text-align: right;"><態-①>（発言、行動観察）</p>

6 ⑦ 本 時	<ul style="list-style-type: none"> ○前時の学習を振り返り、おもちゃを改良するためにどうすればよいか、意見を出し合う。 ○出し合った意見を基に、おもちゃを改良していく。 ○友達のおもちゃと比べたり工夫したことを紹介したりする中で、作ったおもちゃのよさを振り返る。 	<p>*どのように改良するとより面白く・楽しくなるかを考えるために、前時までにタブレット端末で撮影した写真・動画を見られるようにする。</p> <p>*改良する前の写真・動画と、改良した後の写真・動画を比較しながら紹介し合えるように、交流する際には、タブレット端末を活用する。</p> <p>◆活動を振り返ることを通して、素材の特徴への気付きだけではなく、試行錯誤しながら取り組んだ自分自身の学びや、友達の作ったおもちゃのよさにも目を向けさせていく。</p> <p>◇前時の学習を振り返り、おもちゃを改良するためにどうすればよいか意見を出し合ったり、出し合った意見を基に、おもちゃを改良したりしている。</p> <p style="text-align: right;"><思-①>（発言、行動観察、振り返り）</p> <p>◇友達のおもちゃと比べたり工夫したことを紹介し合ったりする中で、作ったおもちゃのよさを振り返っている。</p> <p style="text-align: right;"><態-①>（発言、行動観察、振り返り）</p>
8 9	<ul style="list-style-type: none"> ○自分たちが作ったおもちゃをもっと多くの人に楽しんでもらうには、どうしたらよいかを考える。 ○前時で話し合ったことを基に、友達と協力しながらおもちゃの遊び方やルールを工夫する。 	<p>*制作し撮影した写真・動画を学級全体で紹介し、作ったおもちゃや遊び方を共有することで、お互いのよさを認め合う。</p> <p>◇友達の制作したおもちゃのよさ・面白さに目を向けさせるとともに、1年生が楽しめるためにはどのような工夫をするといいかを考えさせる。</p> <p>◇前時で話し合ったことを基に、友達と協力しながらおもちゃの遊び方やルールを工夫している。</p> <p style="text-align: right;"><思-①>（発言、行動観察、振り返り）</p> <p>◇自分たちが作ったおもちゃをもっと多くの人に楽しんでもらうには、どうしたらよいかを考えている。</p> <p style="text-align: right;"><態-①>（発言、行動観察、振り返り）</p>
10 11 12	<ul style="list-style-type: none"> ○1年生との交流の計画を立て、準備をする。 ○1年生との交流会を行う。 ○単元の学習を振り返り、楽しかったことやできるようになったこと、友達のよかったことなどを話し合う。 	<p>*1年生との交流会（第11時）の様子を写真や動画で記録し、単元の学習の振り返り（第12時）で、お互いのよさや頑張り、努力や成長を認め合う。</p> <p>◆1年生との関わりの中で、よい発言があれば称賛し、自己肯定感を高めることができるようにする。</p> <p>◆おもちゃの制作中の様子、工夫するための話し合いやアイデア、1年生との交流会の様子などを振り返ることを通して、自分自身の成長を自覚的に捉えることができるようにする。</p> <p>◇おもちゃの遊び方やルールを工夫して、1年生との交流会を行っている。 <思-①>（発言、行動観察、振り返り）</p> <p>◇単元の学習を振り返り、楽しかったことやできるようになったこと、友達のよかったことなどを話し合っている。</p> <p style="text-align: right;"><態-①>（発言、行動観察、振り返り）</p>

8 本時の指導（7／12）

(1) 本時の目標

自分と友達のおもちゃの動きを比べたり、いろいろな方法を試したりする中で、自分がおもちゃに加えた工夫のよさに気付くとともに、友達の作ったおもちゃのよさや工夫を見付ける。

(2) 展開

	○学習活動 ・予想される児童の反応	*人権教育に関わる留意点等	◇評価【評価方法】 ◆研究主題に迫るための手立て
導入	○前時までの学習を振り返り、本時のめあてを確認する。 ・車がうまくは走らないな。 ・ゴムを巻いたらよく走ったよ。	*どのように改良するとより面白く・楽しくなるかを考えるために、前時までの学習を振り返りながら考えさせる。	
展開	○自分の作ったおもちゃのよさや工夫したところを考え、表現する。 ・速く走るように、風を受ける帆の部分を大きくしたよ。 ・タイヤの数を増やして、たくさん動くようにしたよ。 ○友達と交流し、自分のおもちゃのよさや工夫した点を紹介したり、友達のおもちゃのよさや工夫した点を聞いたりする。 ・輪ゴムをたくさん掛けているから、高く跳ぶようになっているね。 ・車体がかるいから風の力でよく進むね。	*自分が努力したことや工夫したことに対する肯定的な捉え方を促すために、制作の過程や作成したおもちゃをもう一度見直し、よさや工夫を考え表現できるようにする。	◆制作したおもちゃのよいところや工夫したところをタブレット端末にまとめる中で、自分のよさや工夫を自覚させていく。 ◆友達との関わり合いを通して、友達のよさや自分との違いを考えたり、相手の意見を尊重したりする態度を身に付けさせる。
まとめ	○学級全体で、制作したおもちゃのよさや工夫した点、友達と交流して気付いたよさや工夫した点を発表し交流する。	*学級全体で発表を聞く中で、友達のよさに気付けるようにする。	◆友達のおもちゃと比べたり工夫したことなどを紹介し合ったりする中で、作ったおもちゃのよさや工夫に気付いたり見付けたりしている。<態-①>【発言、行動観察、振り返り】

9 板書計画

せかいでひとつ わたしのおもちゃ

作ったおもちゃのくふうを見つけよう、つたえ合おう。

よいところ・くふうしたところ

- ・はやく走るように、ほのぶぶんを大きくした。
- ・わゴムの数をふやして、高くとぶようにした。
- ・友だちとそくだんして、遠くまでとぶようにパワーアップできた。

プロジェクトに
児童の作品を提示する